



公共施設のあり方について、市庁舎建て替え時期の考え方
【創政会】 大山 学

【Q】公共施設の長寿命化の取り組みの後は必ず建て替えが必要な時期が到来するため、それを見据えた対応を今、考えなければならぬ。

【A】行政センター地区全体のあり方を検討すべきと考えられるが、見解を聞きたい。

【A】行政経営担当部長
行政センター地区にある公共施設については、



空き家・空き地・空き店舗の活用について
【公明党】 中山 真由美

【Q】本市の空き地については、現状把握していないとのことであるが、防災、防犯、環境衛生面で生活環境へ深刻な影響を及ぼしているため、市内全域の調査を実施し、データベース化して適切に管理、対応する必要があると考えるが、見解を聞きたい。

【A】【市民生活部長】現在、空き地に関する相談や苦情については、データ化し、管理をしているが、



子どもたちが参加できるオリンピック・パラリンピック
【創政会】 埴田 巖

【Q】競技大会開催に向け、市内小中学生たちの機運を高め、また、開催後は、未来に向けてどのような

夢や社会への気づきを得られたらよいか市長の見解を、聞きたい。

【A】【市長】本市が聖火リレーのコースとなったことや、本市ゆかりの選手等一流アスリートが熱戦を繰り広げることで、将来、選手をめざす子がふえてくると考える。

また、日本の魅力が世界に向け、発信されることにより、次代を担う子どもたちにとって、日本文化の良さに改めて気づくことや、将来を考えると契機となり、大きな夢と希望を与え、平和な世界と未来につながるよう、期待している。



時代を切り拓く地域コミュニティの確立に向けて
【創政会】 大垣 真一

【Q】地域コミュニティの現状及び課題や、問題点に対し、迅速かつ効果的な対応が必要と考える。地域コミュニティの必要性、また、少子高齢化社会における役割の変化や、地域社会への参画に対する現状と課題および、今後の取り組みについて、聞きたい。

にとつて、欠かすことができないものであり、活動を通じ生まれた地域のきずなは、日々の暮らしを支え合う上で、最も重要であると考える。各自治会においては、

【A】【市民生活部長】少子高齢化等、社会状況が大きく変化する時代においても地域の身近で、互助的な活動は日常生活



広域行政の推進によるコスト削減と将来の投資
【光風会】 越水 崇史

【Q】消防本部の指令業務を共同運用することで、業務の効率化が図られるだけでなく、維持管理費等が低減し、低予算でより高度な機能が導入できるものと考ええる。

現在、県内他市でも消防指令業務の共同運用が行われているが、秦野市との消防指令業務の共同運用に向けた取り組みについて聞きたい。

【A】【消防長】消防指令業務の共同運用に向けては、平成29年に策定された指令業務の共同運用や消防車両の共同整備などの推進を市町村に対し要請した、国の基本指針を受け、消防指令の共同運用の検討を進めていた。

30年11月に両首長から消防においての検討委員会を立ち上げ、検討を進めるように指示があり、31年2月に秦野市・伊勢原市消防指令業務共同運用検討委員会を立ち上げ、現在、検討を進めている。



農薬・殺虫剤の低減を進め、散布実施時期の徹底周知を
【神奈川ネット】 土山 由美子

【Q】現在、害虫等防除のための市庁舎や、市庁舎周辺の植栽への薬剤散布の実施日については、市民に向けて周知がされていない。

われら近隣の住民や店舗事業者者に周知している。市庁舎については、職員だけに周知しているが、休日には散布している状況から直接的な影響はないと認識している。

【A】【総務部長】植栽については、影響があると思

国の指針等や近隣市の状況を参考に、今後の対応を検討していきたいと考えている。



産後ケアなど子育て世代への支援の強化について
【公明党】 田中 志摩子

【Q】本市においては、産後ケアにエンジンバラ産後うつ病質問票を活用しているが、結果の状況とリスクが発見された場合の対応について、聞きたい。

ロー件数が増加していることから、質問票が産後うつ病の可能性があるケースの把握に有効に機能しているかと認識している。

【A】【子ども部長】平成29年度から、助産師による新生児訪問の際にエンジンバラ産後うつ病質問票を用いたスクリーニングを実施している。

産後うつ病のリスクがある妊婦については、再訪問などによるフォローを継続しながら、状況に応じて健康相談などによる支援サービスへのつながりを行うなど、産後うつ病等の未然防止に努めている。

【その他の質問】
◎2020東京オリンピック・パラリンピック



実効性がある、地区防災計画を早急に整備・策定を
【公明党】 今野 康敏

【Q】平成25年に災害対策基本法が改正され、地区防災計画が創設されたが、本市の取り組み状況と課題を聞きたい。

マップを作成するなど、地区住民の相互支援を前提とした、より実効性のある計画にする必要があると考える。

【A】【危機管理担当部長】103の自主防災会で

地区防災計画に基づき、資機材の整備、防災訓練等を実施している。宅地開発が進んだこと等で、地域の状況が大きく変化していることが課題である。今後、各自主防災会で、地区の特性や災害履歴を再整理し、地区防災

また、地区防災計画の充実に向け、自主防災リーダー養成研修会等の機会を通じ、その重要性についての周知や、必要に応じて、職員が出向き指導・助言をしていきたいと考える。

【その他の質問】
◎学校教育のさらなる国際化に向けた取り組み



青色回転灯を装備した公用車による防犯対策
【創政会】 米谷 政久

【Q】青色回転灯を装備した公用車に警察車両と同様の白黒塗装を施し、防犯パトロールを実施すること、犯罪抑止効果を高めるものと考えられるが、本市において、導入する予定はあるのか。

現在、市交通防犯対策係で所有する青色回転灯装備車両1台は、17年目を迎えており、車両の更新時期において、白黒塗装車両の導入については具体的に検討していききたいと考えている。

【A】【市民生活部長】警察車両のような白黒塗装車両を導入し、防犯パト

ロールを実施することは、犯罪抑止力の、より一層の向上につながるものと考えている。

現在、市交通防犯対策係で所有する青色回転灯装備車両1台は、17年目を迎えており、車両の更新時期において、白黒塗装車両の導入については具体的に検討していききたいと考えている。